2026年12月期　第３四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ウルトラファブリックス・ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4235　　ＵＲＬ　https://www.ultrafabricshd.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）吉村　昇
問合せ先責任者　（役職名）管理部長　　（氏名）河辺　尊　　ＴＥＬ　042-644-6515

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有（当社ホームページ）
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満四捨五入）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	16,352	6.1	1,043	△12.6	477	△43.1	293	△47.6	293	△47.6	398	－
2025年12月期第３四半期	15,413	0.3	1,194	△45.1	839	△52.7	559	△55.9	559	△55.9	△27	－

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	15.57	13.62
2025年12月期第３四半期	30.05	25.50

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	37,174	17,584	17,584	47.3
2025年12月期	38,468	17,606	17,606	45.8

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	－	－	35.00	35.00
2026年12月期	－	－	－		
2026年12月期（予想）				35.00	35.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
　　２．上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「（参考）種類株式の配当の状況」をご覧ください。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,600	5.1	1,600	△1.3	800	△31.8	500	△36.4	500	△36.4	26.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	16,965,200株	2025年12月期	16,965,200株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	825,691株	2025年12月期	1,054,607株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	16,029,232株	2025年12月期３Ｑ	15,813,227株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等は、添付資料P.３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（参考）種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は、以下のとおりであります。

Ａ種優先株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	―	―	77.00	77.00
2026年12月期	―	―	―		
2026年12月期（予想）				77.00	77.00

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）要約四半期連結財政状態計算書 …… 4
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）要約四半期連結持分変動計算書 …… 8
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（適用される財務報告の枠組み） …… 10
（表示方法の変更） …… 10
（セグメント情報） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における米国経済は、サービス消費を中心に個人消費が底堅く推移するとともに、住宅投資は弱いものの、AI関連インフラ投資を中心とした設備投資が増加し、堅調に推移しました。一方で、インフレ圧力には緩和の兆しがみられるものの、通商政策や地政学リスクが企業活動やサプライチェーンに与える影響については、引き続き注視が必要な状況にあります。また、円ドルレートは日米の金融政策の方向性や金利差の動向を背景に変動が続く中、政府による為替介入を受けて円高方向に振れる場面もみられました。 今後の見通しにつきましては、各国の政策動向、地政学リスクおよび為替相場の変動が世界経済や企業業績に与える影響について、慎重に見極めていく必要があります。

このような状況下、コントラクト家具向け新規プログラムの寄与、ヘルスケア等の主要顧客の堅調な業績、価格改定の効果、ならびに好調な航空機向け需要と自動車小型部品向け実績は、シート用素材向けやRV市場の低迷を補い、当第３四半期連結累計期間は、円安で推移した影響もあって前年同期比で増収となりました。利益面においては、自社生産数量の減少や在庫効率化の影響があり、新工場の減価償却費や海外合弁事業の開業準備費用等の増加が大きく、前年同期比で減益となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益163億52百万円(前年同期比6.1%増) 、営業利益10億43百万円(前年同期比12.6%減)、税引前四半期利益4億77百万円(前年同期比43.1%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益2億93百万円(前年同期比47.6%減)となりました。

用途別の売上収益の概況は、次のとおりであります。

①家具用

新規カードプログラムの効果が牽引したコントラクト家具向けや、主要顧客向け売上が大きく増加したヘルスケア向けが牽引し、価格改定の効果もあり、家具向け全体の売上は前年同期比で増加となりました。

この結果、家具用の売上収益は45億90百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

②自動車用

シフトブーツ等の小型部品向けは好調だったものの、シート用素材向けは主要顧客の販売車種の変更やプログラムの延期により減収となったことから、自動車向け全体の売上は前年同期比で減少となりました。

この結果、自動車用の売上収益は59億58百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

③航空機用

全体の成長をより確実なものとしている民間航空向けでは引き続き顧客基盤が拡大しており、ビジネスジェット向けも需要が回復し、航空機向け全体の売上は前年同期比で伸長しました。

この結果、航空機用の売上収益は31億70百万円(前年同期比19.9%増)となりました。

④その他

その他事業分野には、RV・手袋・船舶・トラック用などが含まれます。RV向けはビジネスのタイミングの影響により減少し、トラック向けも低調に推移したものの、船舶向けの新たなプログラムとスポーツ手袋向けが好調だったことから、その他売上全体は前年同期比で増加となりました。

この結果、その他売上収益は26億34百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は371億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億94百万円減少いたしました。これは主に、現預金の増加があったものの在庫調整による棚卸資産、有形固定資産及び無形資産の減価償却による減少があったことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は195億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億72百万円減少いたしました。これは主に、営業債務及びその他の債務の減少、運転資金の調達及び繰延税金負債の増加があったものの、賞与支給及び有利子負債の返済による減少があったことによるものであります。

（資本）

当第３四半期連結会計期間末における資本合計は175億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当があったものの四半期利益の計上、自己株式の減少があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円増加し25億66百万円となりました。これは主に営業債務及びその他の債務の減少、長期借入金の返済及び配当金の支払があったものの、税引前四半期利益の計上、減価償却費及び償却費の計上、棚卸資産の減少及び短期借入金の増加があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年２月13日の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、業績予想に修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,257	2,566
営業債権及びその他の債権	3,368	3,290
その他の金融資産	100	353
棚卸資産	4,987	4,081
その他の流動資産	430	480
流動資産合計	11,141	10,770
非流動資産		
有形固定資産	8,401	8,028
使用権資産	654	577
のれん	11,190	11,247
無形資産	6,045	5,522
持分法で会計処理されている投資	387	369
その他の金融資産	426	433
繰延税金資産	207	219
その他の非流動資産	16	9
非流動資産合計	27,327	26,404
資産合計	38,468	37,174

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債及び資本		
負債		
流動負債		
有利子負債	7,745	8,041
リース負債	140	102
営業債務及びその他の債務	2,362	1,566
その他の金融負債	30	―
未払法人所得税等	50	17
引当金	447	437
その他の流動負債	304	708
流動負債合計	11,079	10,871
非流動負債		
有利子負債	7,618	6,438
リース負債	530	486
退職給付に係る負債	153	171
引当金	15	15
繰延税金負債	1,370	1,540
その他の非流動負債	98	68
非流動負債合計	9,783	8,719
負債合計	20,862	19,590
資本		
資本金	2,388	2,388
資本剰余金	2,886	2,926
利益剰余金	12,144	11,636
自己株式	△1,547	△1,206
その他の資本の構成要素	1,735	1,840
親会社の所有者に帰属する持分合計	17,606	17,584
資本合計	17,606	17,584
負債及び資本合計	38,468	37,174

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	15,413	16,352
売上原価	△8,431	△9,222
売上総利益	6,982	7,131
販売費及び一般管理費	△5,793	△6,104
その他の収益	194	23
その他の費用	△189	△7
営業利益	1,194	1,043
金融収益	98	63
金融費用	△389	△501
持分法による投資損益（△は損失）	△64	△128
税引前四半期利益	839	477
法人所得税費用	△280	△184
四半期利益	559	293
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	559	293
四半期利益	559	293
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	30.05	15.57
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	25.50	13.62

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期利益	559	293
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△64	47
在外営業活動体の換算差額	△522	68
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	－	△10
項目合計	△586	105
その他の包括利益合計	△586	105
四半期包括利益	△27	398
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△27	398
四半期包括利益	△27	398

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計	
2025年１月１日残高	2,388	2,837	12,079	△1,760	1,889	17,433	17,433
四半期利益	―	―	559	―	―	559	559
その他の包括利益	―	―	―	―	△586	△586	△586
四半期包括利益合計	―	―	559	―	△586	△27	△27
自己株式の処分	―	△72	―	133	―	61	61
新株予約権の行使	―	△3	―	6	―	3	3
剰余金の配当	―	―	△723	―	―	△723	△723
株式に基づく報酬取引	―	107	―	―	―	107	107
所有者との取引額等合計	―	32	△723	138	―	△552	△552
2025年９月30日残高	2,388	2,869	11,915	△1,621	1,303	16,854	16,854

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計	
2026年１月１日残高	2,388	2,886	12,144	△1,547	1,735	17,606	17,606
四半期利益	―	―	293	―	―	293	293
その他の包括利益	―	―	―	―	105	105	105
四半期包括利益合計	―	―	293	―	105	398	398
自己株式の処分	―	△61	―	112	―	51	51
新株予約権の行使	―	19	△146	228	―	101	101
剰余金の配当	―	―	△654	―	―	△654	△654
株式に基づく報酬取引	―	82	―	―	―	82	82
所有者との取引額等合計	―	40	△800	340	―	△420	△420
2026年９月30日残高	2,388	2,926	11,636	△1,206	1,840	17,584	17,584

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	839	477
減価償却費及び償却費	1,245	1,384
金融収益	△98	△63
金融費用	389	501
持分法による投資損益（△は益）	64	128
棚卸資産の増減額	△565	931
未収消費税の増減額	△282	2
営業債権及びその他の債権の増減額	△484	96
営業債務及びその他の債務の増減額	652	△780
その他	926	398
小計	2,684	3,074
利息の受取額	2	6
利息の支払額	△335	△378
法人所得税の支払額	△368	△163
法人所得税の還付額	0	39
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,983	2,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,119	△333
無形資産の取得による支出	△103	△44
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△227	△120
関係会社貸付による支出	－	△160
その他	△15	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,463	△659
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	461	666
長期借入れによる収入	985	117
長期借入金の返済による支出	△1,662	△1,701
ストック・オプションの行使による収入	3	101
配当金の支払額	△722	△654
リース負債の返済による支出	△130	△146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,065	△1,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	△131	6
現金及び現金同等物の増減額	△676	309
現金及び現金同等物の期首残高	2,724	2,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,048	2,566

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（適用される財務報告の枠組み）

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第５条第２項（ただし、同基準第５条第５項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しており、国際会計基準第34号「期中財務報告」で求められる開示項目及び注記の一部を省略しております。

（表示方法の変更）

（要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

前第３四半期連結累計期間において、独立掲記していた「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「固定資産除売却損益（△は益）」は、当第３四半期連結累計期間において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「固定資産除売却損益（△は益）」0百万円、「その他」925百万円は、「その他」926百万円として組替えております。

（セグメント情報）

当社グループは、ポリウレタンレザーの製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。